



学校だより 神橋

令和4年6月30日

よこはましりつかみはししょうがっこう
横浜市立神橋小学校

7月号

ふれあい活動

こうちょう はんじ たまみ
校長 判治 珠美

思いがけない早い梅雨明けになりました。コロナの感染状況にも変化が見られ、制限されていた活動が徐々に再開できるようになりました。

学習活動でこれまで控えていたことの中に、「人とのふれあいを通して学ぶ」ことがありました。本校のよさの一つである「ふれあい活動」は、1年生から6年生が一つのグループになり交流活動をする「たてわり活動」や1・6年生、2・5年生、3・4年生で交流活動をする「ペア学年活動」があります。同学年の友達とのかかわりはあっても、なかなか異学年とかかわる機会がない今、これらの活動は、特に高学年の児童にとって、「リーダーシップ」や「思いやり」を学ぶとてもいい機会になっていると思います。低学年の児童は、自分たちをリードしてくれる高学年を「頼りになるお兄さん・お姉さん」として見ていて、時には先生の言葉よりよく聞きます。1学年しか変わらない3・4年生ペアでも4年生は4月に「今度は引っ張っていく側だ」と張り切っている姿が見られました。今年度は昨年度よりも充実した活動ができると思います。

岸根公園への「ペア遠足」では、1・6年「みんなが楽しいふれあい遠足にしよう!」、3・4年「みんなで協力、楽しいふれあい遠足」、2・5年「ハッピースマイル 広げよう」と、それぞれのペア学年で考えたスローガン達成に向け、協力して仲良く活動することができました。

高学年のがんばる姿が立派で、成長を感じました。



1・6年生



2・5年生



3・4年生

異学年とのふれあいの他、町探検など、まちに出て人とふれあったり、反対にまちの方やプロの方に学校に来ていただいたりして、実際に自分で見たり聞いたり感じたりする活動など、豊かな学びが少しずつ戻ってきています。

*学校のホームページの中の「校長室から」で、子ども達の活動や学校の取組を紹介しています。どうぞご覧ください。